



スポーツ

ひろしま

第 138 号

令和2年(2020年)3月25日

発行 (公財)広島県体育協会

〒730-0011 広島市中区基町4番1号

県立総合体育館内

TEL(082)221-4600

FAX(082)222-8040

E-mail:taikyo@orange.ocn.ne.jp

令和元年度 広島県スポーツ指導者研修会



アニキが広島に帰って来た!



令和2年1月11日(土)、2月22日(土)いずれも広島国際会議場において、広島県スポーツ指導者研修会を開催した。

2月22日の研修会では、プロ野球広島東洋カープや阪神タイガースで長年活躍された金本知憲氏に「選手として、監督として、野球人生に学んだこと」と題し、大学時代から鉄人だったエピソードや広島東洋カープ入団から引退するまでの経験や学んだこと、さらにFA宣言の経緯やその時の心境など、監督・コーチとの会話のやり取りや秘話を交え、語っていただき、会場は、感嘆のため息や笑いに包まれた。当時の監督から「わしの言うこと聞いたら3割打てるけえ。ウエイトトレーニングやめんさい。3割打ったことないじゃろ。」と言われ、打ったことありますと答えると「ほんまか!!ほんじゃあトレーニング続けえ続けえ」と言われ、さらにトレーニングをやってやろうという気になったという逸話など終始大盛り上がりだった。

(※指導者研修会の内容をまとめた冊子は別途発行)

3月に予定しておりました、広島県スポーツ少年団指導者研修大会や広島かけっこキャラバン《50m走測定会》は、新型コロナウイルス感染症のまん延防止のため、中止いたしました。

令和元年度広島県スポーツ指導者研修会

1月11日(土)は、勝田隆氏による「2019&2020を契機に!」と題した講演と、武藤芳照氏による「スポーツ・コンプライアンス入門」と題した講演を行い、249名の指導者が参加した。

2月22日(土)は、金本知憲氏による「選手として、指導者として、野球人生に学んだこと」と題した対談(聞き手 神田康秋氏)と、眞藤邦彦氏による「スポーツ指導者の役割と心得」の講話を行い、320名の指導者が参加した。



「2019&2020を契機に!」～スポーツ関係者と共有したい視点～

講師:勝田 隆 氏

筑波大学客員教授 ハイパフォーマンススポーツセンター長
ラグビーワールドカップ2019組織委員会評議員

共有したい視点:「指導の原点と未来」再考

1. ゲームの語源から紐解く【「集まる」と「集める」】
2. 試合(競い合い)の根本的構造から紐解く【「同じ」と「異なる」】
3. ヒトとの繋がりが人を育てる【「教える」と「教えられる」】

スポーツで競うために「集まる」ということは素晴らしいことで、勝敗だけでなく競い合う中で学ぶことも多い。また、スポーツで「競い合い」、勝ったり負けたりすることで一喜一憂し、いろんな感情が芽生える。その時にどのような態度で臨むかが大事。「集まる」「異なる」「教えられる」、人がつながっていくスポーツの中で多くのことを学び続けていくためにも、こうした視点を大切にしていきたい。

「スポーツ・コンプライアンス入門」ルールとフェアプレイ精神を守る!～

講師:武藤 芳照 氏

一般社団法人スポーツ・コンプライアンス教育振興機構 代表理事
東京大学名誉教授



＜スポ根からスポコン(スポーツ・コンプライアンス)へ＞

スポーツ・コンプライアンスとは、スポーツで定められたルールとフェアプレイ精神を守り、正々堂々と競い合い、勝っても負けてもお互いに敬意(リスペクト)を払い、明るく、公平・公正な姿勢と行動を守ることであり、競技者はもちろん、監督・コーチ、審判、競技役員、観客など、スポーツに関わる全ての人々に求められる。

＜スポーツの価値と力＞

- (1)練習錬磨の体験を持つこと (2)フェアプレイの精神 (3)友

＜スポーツ界のひずみ＞

- (1)体罰、まちがったトレーニング、暴力、暴言 (2)パワー・ハラスメント、セクシャル・ハラスメントなど
(3)ドーピング (4)パラ・ドーピング (5)八百長、不正行為 (6)犯罪・違法行為

＜スポーツ界のひずみをなくすために＞

- (1)スポーツの良い物語、エピソード、言葉を伝える⇒スポーツの価値を伝える (2)コンプライアンス違反事例から学ぶ
(3)規則と手続きを明確にした組織運営とコンプライアンス事案への適切な対応
(4)不正のトライアングル(①機会 ②動機 ③正当化) (5)日々の倫理観の形成 (6)意識が変われば行動が変わる

【スポーツの価値と力を守り、その信頼を高めるために】

スポーツは人々の健康を増進し、心を豊かにする存在の文化。スポーツ・コンプライアンスを守ることは、スポーツの健全な発展につながり、人間の営みと社会を豊かにしてくれる。



「スポーツ指導者の役割と心得」

講師:眞藤 邦彦 氏

公益財団法人広島県体育協会指導者養成委員会 副委員長

◆スポーツ指導者の役割◆

＜安全で、正しく、楽しいスポーツ活動の場を確保するために＞

- ・一方的、強制的な指導にならないよう、コミュニケーションスキルを高め、活動のねらいや内容をプレーヤーと共有する。

- ・目標を達成するために必要となる能力や行動をコミュニケーションによって引き出す、発見を導く。

◆スポーツ指導者の心得◆

＜指導者の持つ影響力を自覚しよう＞ ＜反倫理的言動に適切に対処しよう＞

- ・スポーツ界におけるパワハラを構成する要素として、①優越的な関係に基づいて行われること、②指導の適正な範囲を超えている、③身体的・精神的な苦痛を与えることにあるといえる。
- ・プレーヤーが自立(自律)し、自ら進んで取り組めるように“PATROL”を心がけよう。

Process:「結果ではなく、経過を重視しましょう」 Acknowledgement:「承認しましょう」

Together:「一緒に楽しみ、一緒に考えましょう」 Respect:「尊敬しましょう、尊重しましょう」

Observation:「よく観察しましょう」 Listening:「話をよく聴きましょう」

令和元年度 中・高合同指導者研修会

異なる競技の中・高等学校等の指導者が一堂に会して、選手の育成強化策のための指導者間の連携強化と情報共有により今後の中・高一環指導システムの充実を図ることを目的として、中・高合同指導者研修会を開催しました。グランドプリンスホテル広島を会場とし、2月7日(金)から8日(土)の1泊2日の日程で、11競技20名の指導者が参加しました。

【第1日目】2月7日(金)

研修Ⅰ 「ジュニア選手育成について」



広島県立音戸高等学校 カヌー競技監督 沖 千佳 氏

倉橋高校・音戸高校での指導経験を踏まえた、ジュニア選手の育成についてお話いただきました。
近年の活動として、小学生～成年選手まで参加する「チーム広島」での合同練習会・カヌー教室の開催について紹介されました。年代の枠を越え、元オリンピック選手や他県指導者を招へいして練習会を行っているそうです。そうすることで、常に充実した練習ができるだけでなく、ジュニア選手は具体的かつ明確な目標を持つことができ、練習への態度も明らかに変わったという効果も見られたとのことがありました。

【第2日目】2月8日(土)

研修Ⅱ 「コア・トレーニングの理論」「コア・トレーニング実技」



日本コアコンディショニング協会理事・マスタートレーナー 竹原 亮紀 氏

コア・トレーニングは、運動スキルを高めるために必要となる「体の土台づくり」とであるという理論の説明をいただきました。
成長期で、身体が未完成であるジュニアアスリートならではのトレーニング指導の注意点も教えていただきました。
身体づくりの考え方を学んだ後、実際に自分自身の体に対する主観的な感覚や体の動き・姿勢などを参加者同士で確認し、イメージと実際の身体の動きの違い・ズレを確かめながらトレーニングを体験しました。

研修Ⅲ 「スポーツ指導者の役割・心得」(講話)



(公財)広島県体育協会指導者養成委員会副委員長 眞藤 邦彦 氏

近年スポーツ界においては、パワハラ等の不祥事が相次いでおり、社会的な視線も厳しさを増しています。こうした状況に触れ、安全で、正しく、楽しいスポーツ活動をするためのスポーツ指導者の役割・指導者と選手の望ましい関係づくりについてお話いただきました。
また、選手全員が楽しく活動し、能力を伸ばしていけるよう、発達段階や技能レベルを考慮して指導内容を変えるなどの工夫をすることも、指導者の役割であるとのことがありました。

トッパスリート育成事業2019

広島県が国体総合8位入賞を達成するため、ジュニア選手を対象に、国体候補選手としての自覚を養うとともに、スポーツ医・科学等の各種研修を通して競技力の向上を図ることを目指し、トッパスリート育成事業2019を開催しました。2月8日(土)・9日(日)の1泊2日の日程でグランドプリンスホテル広島を会場に、各競技団体や学校体育団体から推薦された16競技67名のジュニア(中・高校生)選手が参加しました。



【第1日目】2月8日(土)

◆特別講演 「がんばれ!広島ジュニア選手たち」(国体を目指して頑張ろう!)

(公財)広島県体育協会強化委員長 河野 裕二 氏

強い選手になるために必要なこと、これから成長していくために大切な心構え等を話していただきました。



研修Ⅰ 「メンタルトレーニング」

広島文教大学教授・スポーツメンタルトレーニング指導士 田村 進 氏

能力発揮のための3要素として、心(精神力)・技(技術力)・体(体力)とよく言われるように、スポーツで活躍するためには、身体面だけでなく精神面を鍛えるメンタルトレーニングも大切です。そのメンタルトレーニングの中でも、今回は目標設定についてお話をいただきました。



研修Ⅱ 「ジュニアアスリートの食生活」

講師 下岡 里英 広島女学院大学 教授 中藪 宏美 広島文教大学 准教授

アスリートとして活躍するためには、しっかりとした身体づくりが不可欠です。身体づくりに必要な栄養、特に、筋肉量を維持・増加するために必要なたんぱく質・炭水化物・ミネラル・ビタミンについて詳しく解説していただきました。
また、食事のことは選手本人だけではなく家庭でのサポートが重要となることから、希望する保護者も参加して、一緒に学びました。

【第2日目】2月9日(日)

研修Ⅲ 「コア・トレーニングの理論と実技」

日本コアコンディショニング協会理事・マスタートレーナー 竹原 亮紀 氏

自分の身体を思ったように操作し、様々な運動を巧みにこなす運動スキルを向上させるためのコア・トレーニングを体験しました。

研修Ⅳ 「スポーツ医・科学相談」

スポーツ医・科学相談では、内科・整形外科・歯科・栄養トレーニングの個別相談が実施されました。選手が抱えている悩みや疑問等について、各分野の専門の先生方に個別に直接相談できる貴重な機会であり、先生方も熱心にアドバイスしてくださいました。

内科相談	大成 浄志	医師	井上 典子	医師	栄養相談	下岡 里英	先生	中藪 宏美	先生
整形外科相談	石井 良昌	医師	福原 宏平	医師	トレーニング相談	竹原 亮紀	トレーナー		
歯科相談	荒谷 泰史	歯科医	西野 宏	歯科医					

スーパージュニア選手育成プログラム2019 ファイナルトライアル

令和2年1月19日(日)に、中区スポーツセンターにおいて今年度最後のプログラムとして、体のバランストレーニングと運動適性テストを行いました。

まず午前中は、第1回体験プログラムでも実施した「体のバランストレーニング」を行いました。

講師は第1回と同じく、一般財団法人日本コアコンディショニング協会の竹原亮紀マスタートレーナーです。

体の軸・重心を安定させるトレーニングや、効率的な体の動かし方などを教えてもらいながら実践しました。特にスポーツをする上で大切なコア(腹筋・背筋など)を鍛えるトレーニングは、一見激しい動きには見えませんが、全身を使った運動なので選手たちからは「きつい!」と悲鳴があがります。

第1回に行ったトレーニングもあり、選手たちは約1年前の自分の体との変化を実感することができたのではないのでしょうか。

そして、最後は学年男女別対抗で、様々なゲームに挑戦です。色々な場所に散らばったマーカーを自陣に持って帰るゲームや、敵チームのしっぽを取り合う鬼ごっこのようなゲームなどを行い、負けたチームには厳しいコアトレーニングが待っています。競い合う中でも楽しみながら体の切り返し方や効率的な動き方を学ぶことができました。

自分の身体を思うように操る技術(コアの使い方)は、どのスポーツをするにも重要になるので、教わったことを継続して実施してくれると嬉しいです。

午後は、この育成プログラムの締めくくりとして、5月に行ったトライアルと同じ内容の運動適性テストを行いました。上体起こし、立ち幅跳び、長座体前屈、40m走、ソフトボール投げ、20mシャトルランの6種目を実施し、自分の記録を確認しました。

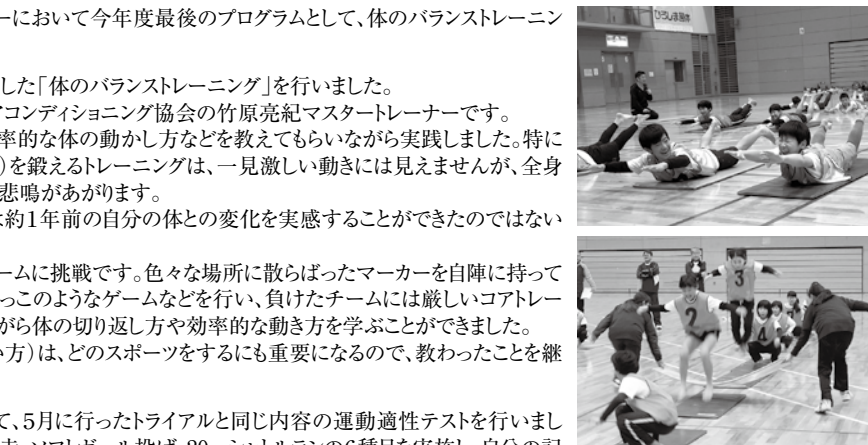
今回の測定結果は、5月のトライアル時と比較できる形で各選手に返却されますので、届いたら自分の記録を確認して成長を感じてみてください。

最後に、全員に修了証とすべてのプログラムに参加した選手に皆勤賞が交付され、スーパージュニア選手育成プログラム2019は完結しました。

今年度は計5回のプログラムを通して7競技を体験することができました。色々な技術を習得しやすい「ゴールデンエイジ」と呼ばれる小学校高学年の時期に、多くのスポーツ仲間に出会うことができたのは、選手の皆さんにとって貴重な経験になったと思います。これからも様々なスポーツ・体育のイベントに積極的に参加して、自分の特性を磨いていけることを期待します。

また、保護者の皆様には、毎回の引率、サポートプログラムへの出席など、御協力ありがとうございました。スポーツ選手の育成には、家庭でのサポートが欠かせません。このプログラムで得られたことを活かしていただき、子どもたちの成長をしっかり見守っていただきたいと思います。

最後になりましたが、今年度も広島県小学生体育連盟の先生方、T&TWAMサポート株式会社の方ならびに広島文教大学の学生の皆さんなど、多くの方にご支援・ご協力いただきましたことに深く感謝申し上げます。



令和元年度スポーツ少年団顕彰受賞者

日本スポーツ少年団顕彰

登録指導者 上尾 達也(庄原市)

広島県スポーツ少年団顕彰

単位スポーツ少年団 常金丸少年野球クラブリトル・スネイルスポーツ少年団
誠之道場スポーツ少年団
吉舎剣友会スポーツ少年団
YamanouchiClubスポーツ少年団
海田SUNSミニバスケットボールクラブスポーツ少年団

登録指導者

福田 さつき (広島市)	池田 賢治 (広島市)	新藤 信行 (広島市)
藤本 克裕 (広島市)	森 美香 (広島市)	大石 幹人 (呉市)
古屋敷 治 (呉市)	井川 公雄 (尾道市)	渡部英一郎 (福山市)
村上 仁志 (福山市)	沖田 靖身 (庄原市)	有田 道子 (安芸高田市)



感動が、 人と街をつなぐ。

夢に向かってがんばっている人たちの努力を、
私たちはいちばん近くでずっと見続けます。
感動を、人と街をつなぐエネルギーに。



中国電力株式会社

<http://www.energia.co.jp/>

第75回 国民体育大会冬季大会

第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会が、令和2年1月29日(水)から2月2日(日)まで青森県八戸市・三沢市・南部町で開催されました。また同スキー競技会が、2月16日(日)から2月19日(水)まで富山県富山市・南砺市で開催されました。

スケート競技会・アイスホッケー競技会

令和2年1月15日(水)広島県立総合体育館武道場において、広島県選手団の結団・壮行式が行われ、大中恒男団長(広島県スケート連盟会長、広島県アイスホッケー連盟会長)以下38名の広島県選手団が結団された。選手宣誓では、スケート競技フィギュア少年男子に出場する鈴木零偉選手(広島県立安古市高等学校)が選手を代表して健闘を誓った。

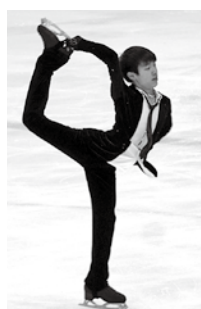
スケート競技では、ショートトラック少年女子の谷本陽選手(広島女学院高等学校)が500m・1000mとも4位入賞、フィギュア少年男子は7位入賞で合計16点を獲得した。



鈴木零偉選手(スケートフィギュア少年男子)写真左
鵜川絢音選手(スケートショートトラック少年男子)写真右



フィギュア少年男子7位入賞



鈴木零偉選手



三島悠生選手



ショートトラック少年女子4位入賞 谷本陽選手

スキー競技会

令和2年2月3日(月)広島県立総合体育館小アリーナにおいて、広島県選手団の結団・壮行式が行われ、宮本新八団長(広島県スキー連盟会長)以下35名の広島県選手団が結団された。結団式では、ジャイアントスラローム成年女子Bに出場する佐渡仁美選手(芸北おおさ)が選手を代表して宣誓した。

今季は暖冬の影響で開催が危ぶまれるほどの雪不足であった。広島県の選手たちは健闘したが、残念ながら全種目で入賞を逃した。



佐渡 仁美選手(ジャイアントスラローム成年女子B)写真左
西村 輝選手(ジャイアントスラローム成年男子B)写真右

©HIROSHIMA BANK
ひろぎんオリジナルキャラクター「ひろくん」

今日も、未来も、全力で。

総合金融サービスグループとして、
くらしの夢を、地域の夢を、全力で応援します。

真っ先にご相談いただける「ファースト・コール・バンクグループ」を目指します。

広島銀行

～～ひろしまのスポーツ取材日記～～

中国放送

新型コロナウイルスがスポーツ界にも大きな影響を及ぼしていますが、いくつかのスポーツで無観客試合というなかなか珍しいことが起こっています。

バスケットボールでも無観客試合が行われたのですが、そこではコート上の選手の声が目立ったのが印象的でした。先日の試合ではかなりヒヤッとしました。審判が下したファウル(ルール違反)の判定に、選手が不服な態度を示す場面はしばしば見られることですが、ファンの歓声がないとその声が目立つように聞こえるのです。今のプレーはあり得ない、今の判定には納得できない、そんな言葉が日本語でも英語でも飛び交うので、目の前で喧嘩が起きるんじゃないかと、ちょっと焦りました。もう一つ、バスケットボールでびっくりしたのは、「ファンがいなくてシュートの感覚が狂う」ということです。特にフリースローのとき選手は集中してゴールめがけてボールを放るわけですが、ゴールの後ろに観客がいるのと空っぽの客席が見えるのでは、ゴールとの距離が違って見えるそうです。これはプロスポーツならではの感覚だなと感心しました。

それぞれのスポーツに無観客試合のおもしろさはあるのですが、もちろんファンが早く客席に戻ってきてくれることを、選手もファン自身も心待ちにしているでしょう。コロナウイルスの感染拡大が早く落ち着くことを願っています。

中国放送 報道制作局 スポーツ部 森井 節



テレビ新広島



広島スポーツの取材を始めて半年。カープの沖縄キャンプを初めて取材しました。

宮崎・日南市から場所を移し、オープン戦も始まるなど、より実戦的な練習が増える沖縄キャンプ。そんな地で汗を流す選手たちのニュースは、実際に沖縄を訪れる事ができない人にとって大事な情報です。

佐々岡カープ、今年はどんな野球をするのか?ショート・レフトのポジション争いは?サードは誰になるのか?新人や新外国人選手は期待できる?

広島でテレビを見ている方はどんな事が気になっているのか考えながら取材を進めました。私も一視聴者としてテレビを見ている時は、「もっとこんなニュースを…」 「あの選手も知りたい…」 などと思っていたものですが、実際現地で取材をしてみるととても難しかったです。

大まかな事以外は、誰がどこで練習をするのかは当日にならないとわかりません。当日朝に発表された練習内容を見て、ある程度目星をつけ、取材を進めます。しかし急な怪我人が出たり、どこでどんなハプニングがあるかもわかりません。

そこに臨機応変に対応して、沖縄に滞在しているスタッフ総動員でニュースをお伝えしています。人生をかけて野球をしている人たちのパチパチした雰囲気や少しでもお伝えできていたら嬉しいです。開幕はいつになるのか、難しい状況にスポーツ界は直面していますが、臨場感のあるニュースを毎日お伝えできるよう日々精進します。

テレビ新広島 報道制作局 スポーツ部 山之内 良

NHK

スポーツを楽しむ生活を取り戻したい

新型コロナウイルスの影響でスポーツを楽しむ機会が蝕まれている。プロ野球は、オープン戦が無観客で行われ、さらに公式戦の開幕が延期になってしまった。例年通りなら、球春到来でカープファンは、スタジアムで歓声を上げたり、職場や学校でチームの戦いぶりについて語り合ったりしているはずだ。

サッカーも、バスケットボールも、バレーボールも次々と延期や中止に追い込まれている。中学校や高校では、部活動も制限されて、まさに老若男女、あらゆる人々が、スポーツを楽しむことが難しくなっている。

私の仕事場では、スポーツ中継が次から次へと変更やキャンセルが起り、日々その対応に追われている。「仕事がなくなって暇でしょ?」などと言われるが、その逆で「仕事がますます増えている」状態。なぜなら、放送機材の準備や、スタッフ要員の確保などを一からやり直さないとイケないからだ。そして、何より今後の展開が見通せないことが仕事を難しくしている。

5月には聖火リレーが広島にやってくる。夏にはオリンピック、パラリンピックもある。今は一日も早く世界が平和に戻ることを願うばかりだ。

NHK広島放送局 チーフプロデューサー 浅田 昌之



建物に
快適パフォーマンスを。

もっと最適な、もっと快適に。
建物の快適性をさらに追求する
その思いに胸に、磨きをかけた技術で
さまざまな設備を施工しています。
中電工のパフォーマンスが
建物のパフォーマンスを向上させ
さらにスムーズな社会と
快適な未来をつくり出す。
「人と技術で夢づくり」
私たちは中電工です。

More Smoothly!

屋内電気工事	空調管工事
情報通信工事	配電線工事
放送変電工事	リニューアル工事
エネルギー関連工事	環境関連工事

中電工
CHUDENKO
www.chudenko.co.jp
〒730-0855 広島市中区小網町6番12号
TEL 082-291-7411

中国新聞社

こんなことになるとは想像していなかった。毎年3月といえば、担当しているバレーボールやハンドボールなどの室内競技が佳境を迎え、高校生の各競技の全国選抜大会も相次ぎ、せわしない時期だ。それが軒並み中止になった。取材予定を記した手帳は×印ばかり。すべて新型コロナウイルスの感染拡大が要因だ。

2月22～24日に福山市であったバレーボール・Vリーグ男子のプレーオフ。エフビコアリーナふくやまの出入り口には消毒液が置かれ、観客約3千人の大半がマスクを着けて観戦した。23日にエディオンスタジアム広島であったJ1サンフレッチェ広島の開幕戦も、約1万9千人の多くがマスク姿。それでもまだスポーツを楽しむ余裕があった。

2月26日の政府による「全国的なスポーツや文化イベント」への自粛要請で事態は急変する。屋内、屋外問わず、各競技の大会はほぼすべて中止となった。選手、生徒の安全確保のためにはやむを得ないことだ。

とはいえ、突然目標を奪われた選手の無念は計り知れない。全国選抜大会に初めて出場するはずだった高校の教諭は「教員も部員もすごく落胆しています」と語った。一刻も早くスポーツを楽しめる日常が戻ってくることを祈るしかない。

中国新聞社 運動部 山本 堅太郎



広島テレビ



私はこの1ヶ月、改めてスポーツの持つ力というのを感じさせられた。喜び・悲しみ・ドキドキ。どれもスポーツを通して得られる人間の感情だ。しかし、今はそれを感じられる環境がなくなっている。

きっかけは新型肺炎の感染の拡大である。スポーツの大会・イベントの自粛が迫られ、相撲を始め野球・サッカー・バスケット等はほぼ全ての競技が無観客・延期・中止という決断を迫られた。ファンやサポーターが集い、想いをひとつにして応援する素晴らしい環境が失われてしまったのである。

私がカープのオープン戦に取材に行ったときだ。無観客で行われた試合はとても寂しかった。この日は鈴木誠也選手のオープン戦・第一号ホームランが飛び出した。しかしベンチから選手の声が聞こえるだけで、ファンの歓声がスタジアムに響くことはなかった。普段であれば3万人を超えるファンたちが熱狂する瞬間だ。選手たちが口をそろえて「寂しい」と言うのもよくわかる。

大観衆を一度に沸き立たせることができる「スポーツ」の素晴らしさ、ファンたちの声援がどれだけ選手たちの支えになっているのかを実感した出来事だった。再びファンと選手が喜びを分かち合える環境が戻ることを祈るばかりである。

広島テレビ放送 報道制作局 スポーツ部 下戸成 誠治

広島ホームテレビ

新米スポーツ記者の初キャンプ取材体験

2年ぶりのリーグ優勝、36年ぶりの日本一を狙う今シーズンのカープ。その準備期間となる沖縄春季キャンプの現場を取材した。沖縄での主な仕事は練習・試合を取材して原稿にし映像にしてニュースで流すことだ。独自の目線で原稿をかけたならより面白いニュースになるし、そういうものを目指している。

といっても、この2月にスポーツ部に異動してきたばかりの私は右も左もわからない状態。1月まで、報道部で警察担当記者として取材活動を行っていた。原稿を書くという点では一緒でも取材対象者がまるで違う。いざ球場で取材しても、これまでテレビやマツダスタジアムで観ていた選手の迫力に圧倒されてしまった。他の記者さんたちは、選手たちと親しく話をして情報収集している様子に妙に焦ってくる。しかし、選手たちの声を届けるのが我々の仕事だ。緊張している場合ではない。いざ勇気を出して移動中の選手に声をかける…。終わってみると緊張していた自分に恥ずかしくなってきた。新米の私に対してもしっかりと受け答えしてくれる選手たちばかりだった。

特集用に単独インタビューした選手も丁寧に応じてくれた。SNSでその特集の感想を書いている人を発見した。自分が作ったVTRに対するリアクションは素直にうれしかった。もっともっといいVTRを作っていきたい。

広島ホームテレビ 報道制作局 スポーツ部 澤井 健司





仲間と一緒に
楽しく

小さな掛金、大きな補償

スポーツ安全保険[®]

文化活動、レクリエーション、ボランティア、地域活動などでもご加入できます



4名以上の団体・グループで
ご加入ください



傷害保険



賠償責任保険



突然死葬祭費用保険

対象となる事故

団体・グループでの活動中の事故／往復中の事故

保険期間

2020年4月1日午前0時から2021年3月31日午後12時まで（申込受付は2020年3月から）

掛金

掛金（1人年額800円～1,850円）は、活動内容・年齢によってご選択いただく加入区分ごとに異なります
ただし、危険度の高いスポーツを補償する区分は11,000円

補償内容

傷害補償は、死亡2,000万円、後遺障害3,000万円を最高に、活動内容・年齢によって異なります
詳しくは、ホームページなどをご覧ください



公益財団法人 スポーツ安全協会 広島県支部

（公財）広島県体育協会内

〒730-0011 広島市中区基町4-1

TEL

082-223-7865

問い合わせは、月曜日から金曜日まで（祝日・振替休日・年末年始を除く。）午前9時から午後5時まで。



保険の詳しい内容、資料の請求は、
ホームページをご覧ください。

※インターネットからも加入受付をおこなっております。

スポーツ安全保険

検索

この広告はスポーツ安全保険（スポーツ安全保険特約書に基づく傷害保険（スポーツ安全協会傷害保険特約・スポーツ安全協会傷害保険特約（学校管理下外担保）・突然死葬祭費用担保特約付帯普通傷害保険）、賠償責任保険（スポーツ安全協会賠償責任保険特約等付帯施設賠償責任保険及びスポーツ安全協会傷害保険特約（学校管理下外担保）付帯普通傷害保険賠償責任担保条項））の概要についてご紹介したものです。ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」および「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款および特約書によりますが、ご不明の点がございましたら（公財）スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険（株）までお問い合わせください。

〈引受幹事保険会社〉

東京海上日動火災保険株式会社
担当課：公務第2部 文教公務室
TEL 03-3515-4346（平日9:00～17:00）

〈共同引受保険会社（2020年4月予定）〉

あいおいニッセイ同和 共栄火災
損保ジャパン日本興亜 大同火災 東京海上日動
日新火災 三井住友海上 AIIG損保

2019年12月作成 19-T05158